

1. はじめに

今年度も本専門部部長を梶原裕隆先生(鹿島実業高校校長)にお引き受け頂きました。また、丸小野仁之先生(佐賀工業高校教諭)が佐賀陸上競技協会強化委員長に就任され、大変多忙になられたために本専門部競技力向上委員長を退任され、その後任として松永成旦先生(佐賀北高校教諭)が11年ぶりに加わり、丸小野先生が務めていた本専門部競技力向上委員長に就任して頂くことになりました。また、松瀬元太先生(元白石高校教諭)が佐賀県教育庁文化・スポーツ課に出向されましたので、その後任として、本村尚武(武雄高校教諭)に長距離種目専門として本専門部に加わって頂きました。

今年度も佐賀陸上競技協会に競技運営面、また選手の競技力向上にご協力を頂きました。この場を借りてお礼を申し上げます。

2. 昨年度(H30.9~)今年度(R1.8迄)を振り返って

昨年度の九州高等学校新人陸上競技大会では、鳥栖工業高校が男子総合で3位に入賞し、佐賀北高校が女子総合で4位に入賞した。

個人でも、男子で宮原空哉(鳥栖工2年)が5000mW(21分33秒52)、中島阿廉(鳥栖工2年)が3000mSC(9分06秒17)で優勝。姫野稀央(鳥栖工2年)が5000mW(21分52秒90)で2位。百田仁成(佐賀工2年)が400mH(52秒81)で3位、佐々木亮輔(鳥栖工2年)が3000mSC(9分20秒71)で3位、白水歩(佐賀工2年)がハンマー投(50m75cm)で3位に入賞した。

女子では稲田亜衣(佐賀北1年)が800m(2分13秒42)で優勝。4×400mR(3分50秒60)で佐賀北高校(池田佳奈2年・稲田亜衣1年・森田彩楠1年・有吉乃彩2年)が優勝。堤二知佳(鳥栖2年)がやり投(44m04cm)で優勝。池田佳奈(佐賀北2年)が800m(2分14秒80)で2位、武藤実(佐賀清和2年)が5000mW(24分26秒17大会新)で2位。福田愛紗(佐賀清和2年)が400m(57秒54)で3位に入賞しました。

10月末に実施することになった県高校駅伝競走大会では男子で鳥栖工業高校が9年連続43回目の優勝をした。女子は佐賀清和高校が4年連続6回目の優勝をした。

11月に福岡県で開催された九州高校駅伝競走大会では男子の部で鳥栖工業高校が6位に入賞した。

12月に京都で開催された全国高校駅伝大会では男子の鳥栖工業高校が2時間5分52秒で10位、女子の佐賀清和高校が1時間13分37秒で43位であった。

今年度の全国高校総体北九州地区予選会(長崎)では、鳥栖工業高校が男子総合で優勝を果たした。

個人の男子では中島阿廉(鳥栖工3年)が3000mSC(9分08秒66)で優勝。宮原空哉(鳥栖工3年)が5000mW(21分18秒95)で優勝。宮原力丸(佐賀商2年)がやり投げ

(58m17cm)で優勝。姫野稀央(鳥栖工3年)が5000mW(21分52秒63)で2位。4×400mR(3分14秒71)で鳥栖工業高校(末次優太郎2年・山下譲尊2年・大坪英一郎2年・堤友希3年)が2位。白水歩(佐賀工3年)がハンマー投げ(55m33cm)で2位、早田駿斗(佐賀商3年)が200m(21秒50)で3位、杉彩文海(鳥栖工3年)が1500m(3分53秒14)で3位、百田仁成(佐賀工3年)が400mH(53秒24)で3位に入賞した。

女子では、瀬戸結水(佐賀清和3年)が7種競技(3875点)で2位。福田愛紗(佐賀清和3年)が400m(56秒63)で3位、月岡真珠(佐賀北3年)が三段跳(12m15)で3位、藤野愛奈(佐賀商2年)がハンマー投(43m98cm)で3位に入賞した。年度当初の目標であった「北九州地区予選会で5種目の優勝」を下回り3種目の優勝となり、昨年(6種目優勝)の半分になってしまった。また、男子10種目(のべ17名)、女子10種目(のべ15名)の入賞をし、26名の選手が全国総体の出場権を獲得しましたが、昨年の47名を大きく下回る結果となりました。(昨年より21人減)

全国高校総体では、男子5000mWで宮原空哉(鳥栖工3年)が22分10秒29で優勝。佐賀県選手として陣内綾子選手(800m 佐賀西、現九電工)以来、15年ぶりの優勝を果たしてくれました。

今年の全国高校選抜大会では、入賞者0人で、全国高校総体と合わせても宮原選手の優勝以外の全国入賞者がいないという残念な結果となりました。まだ、10月の国体とU18/U20日本陸上競技選手権大会、12月の全国高校駅伝大会を残しているため、今後の活躍に期待したいと思います。

昨年度より全国大会出場者が激減し、入賞者も1人と言う現状があり、これからの競技力向上に努めなければならないと考えています。その中でも男子5000mWで優勝した宮原空哉(鳥栖工3年)の活躍は、これからの佐賀県高校陸上界を牽引していく大きな力になってくれると期待しています。今後も引き続き、全国大会での入賞を目指し、様々な競技力向上事業を展開していきたいと考えています。

3. 最後に

今年は、佐賀県総合運動場の改修工事に伴い、佐賀県高校総体と高校新人陸上大会が鹿島市陸上競技場での開催となり、準備や運営が例年通りにできない。また、駐車場問題や予期しない事態が発生するなど、課題が大きな年となりました。来年度も佐賀陸上競技協会、佐賀県体育協会、佐賀県高等学校体育連盟事務局のサポートを頂き、専門部が一丸となって頑張っていきたいと思います。

2023年に佐賀県で2回目の国民スポーツフェスティバルが開催されますが佐賀県代表選手が十分な活躍が出来るように高校生アスリートの部活動環境を支えていきたいと思っています。